

2013年(平成25年)1月9日(水曜日)

(第3種郵便物認可)

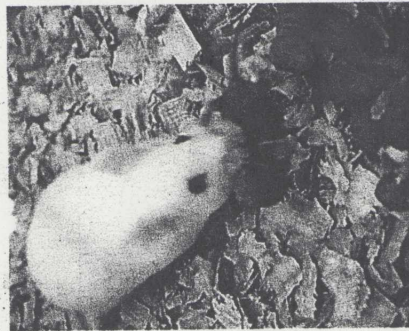
妻に尻たたかたれ オス子育て

金沢大がマウス実験

オスのマウスは、連れ合
いのメスのおいや声に促
されて子育てに参加すると
いう研究結果を、東田陽
博・金沢大学特任教授(神
経化学)らが、科学誌ネイ
チャー・コミュニケーション
ズ電子版に発表した。

マウスのオスは、自分の
子を産んだメスと一緒にす
ると、マウスの子どもを口
にくわえて運んだり体をな
めたり子育てをする。

ところが、オスとメス約
40組の実験で、メスにお
いがしない新しい飼育箱に



子をくわえて運ぶオスのマウス(東田特任教授提供)

一緒にいないと知らんぷり

オスを入れて約5分たつ
と、子どもと一緒にしても
子育てをしなくなった。メ
スと一緒にだと子育てをし
た。

メスはふつう50〜90ギ・
ツという甲高い声で鳴く
が、子どもと引き離される
と38ギ・ツの低い声を出
す。この声を聞いたオスは、
メスのおいがなくても子
育てをした。連れ合いのメ
スでなければ、おいや声
に効き目はなかった。

東田さんによると、マウ
スの子育てに関して、にお
いや声の影響は、これまで
確認されていなかった。「母
子が引き離される『家庭崩
壊』の危機的な状況で、メ
スからオスへ強力なコミュニ
ケーションが行われたと
いうことだろう」と東田さ
んは説明する。

マウスのにおい物質に詳
しい東原和成・東京大学教
授(応用生命化学)は「子
育てを促すにおい物質が何
なのか興味深い」と話す。